

令和3年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～					
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー					
重点プロジェクト							
主管課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者			増村 規子		
		評価日			令和4年4月15日		
関連課	協働推進課、文化・スポーツ振興課、環境課、社会教育課						
目標	高齢者が知識や経験を活かしながら、地域社会の中で趣味の活動やボランティア活動、就労などを通じて積極的な役割を果たし、生きがいを持っていきいきと健やかに暮らせる環境づくりを進めます。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 趣味やボランティア、交流活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が地域で生きがいを持って暮らせるよう、スポーツ・レクリエーション・社会参加・世代間交流などを推進します。 ○高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を様々な分野で活かし、ボランティア活動や地域づくりなどを通じて積極的に活動できる環境を整備します。 ○高齢者が安全に安心して活動できる拠点の確保を図ります。 ○高齢者の閉じこもりを防ぎ、積極的に地域で活動できるよう、移手段の確保を図ります。 <p>(2) 就労機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の就労について中心的役割を果たすシルバー人材センターと連携し、就労相談や就労機会の拡充に努めます。 						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	シルバー人材センター会員数					
		説明	年度末現在。高齢者が知識や経験を活かし地域社会の中で生きがいを持って暮らせるよう、シルバー人材センターと連携し、センターの周知を図った。令和3年度新規入会348人・退会319人で目標値に届かなかった。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	2,200	2,260	2,320	2,380	2,440	2,500
		実績値	2,129	2,139	2,039	2,068		
	指標 2	指標名	高齢者の施設利用者数（おおい老人福祉センター）					
		説明	高齢者の健康増進や利用者の交流を図るため、大井総合福祉センター内のおおい老人福祉センター利用者数の確保に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用制限を行ったが、昨年度より利用者は増加した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
		実績値	66,027	59,594	12,317	22,563		
	指標 3	指標名	高齢者の施設利用者数（エコパ）					
		説明	高齢者の健康増進や利用者相互の交流を図るため、エコパ利用者数の確保に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用制限を行ったが、昨年度より利用者は増加した。					
		単位	人					
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	
	実績値	168,777	152,833	69,157	101,405			
指標 4	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	404,226	163,022	293,024	277,434	227,993	
	人件費	31,666	23,414	28,428	22,512	23,625	
収入	特定財源	274,932	47,276	161,496	165,304	93,675	
	一般財源	160,960	139,160	159,956	134,642	157,943	

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理	令和2年度に介護保険法に基づき3年を1期とする介護保険事業計画を高齢者保健福祉計画と一体のものとして策定した。令和3年度は諮問機関である介護保険等運営審議会で第8期計画の進捗管理を行った。 (第8期計画：令和3年度～令和5年度)	介護保険等運営審議会(年間3回)で計画の進捗管理を実施。令和3年度においては新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため計画どおりに進めることができない事業もあったが、介護保険事業については実績値に大きな乖離はなく、計画に則り順調に事業展開が図られた。	高齢者保健福祉計画推進事業
取組②	高齢者の就労機会の拡充	2市1町共同による補助金交付により、シルバー人材センター健全運営の推進を図った。	①シルバー人材センター補助金として、ふじみ野市分10,101,011円を交付した。 ②シルバー人材センターの令和3年度契約額は1,160,197千円で、令和2年度1,142,221千円と比較して17,976千円(1.5%)の増となった。	シルバー人材センター支援事業
取組③	お出かけサポートタクシーの事業内容の見直し	高齢者等の交通手段の確保及び福祉の増進や外出の機会の提供を行うために実施している。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推奨するため、医療機関、集団接種会場までの交通手段として活用できるようにした。	ワクチン接種等の移動手段として、5月からタクシーの台数を6台から3台増やし、9台体制として運行を実施した。令和3年度延べ利用者15,785人で、令和2年度延べ利用者15,182人と比較し、603人の増となった。	長寿推進事業(一部)
取組④	地域密着型施設の整備	国・県から交付される高齢者福祉施設整備補助金・施設開設準備経費特別対策事業費補助金を活用して整備する地域密着型サービスの事業者の公募を行った。	令和4年度に開設する認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護の併設型の公募を行い、基準を満たした事業者の選定を行った。	高齢者福祉施設整備等支援事業
取組⑤	大井総合福祉センターの適正な運営	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、運営した。また、空調機器の更新工事を実施し、併せて介護予防拠点を整備した。	経年劣化に伴う、大規模改修工事として、全フロアの空調機器の更新を行うとともに、1階旧デイケアセンターの改修により『ふじみんびんしゃんホール』を整備し、西地域の介護予防の拠点としての事業を開始した。また、ホールの備品整備は、寄附金を活用した。	大井総合福祉センター管理運営事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく事業が概ね順調に進められている。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種を推奨するためお出かけサポートタクシーの台数を9台体制として利用促進を図った。また、大井総合福祉センターでは経年劣化に伴う大規模改修工事で全フロアの空調の更新工事、1階旧デイケアセンターの改修工事を行った。1階旧デイケアセンターの改修工事後、『ふじみんびんしゃんホール』として、市内西側地域の介護予防の拠点としての事業展開を開始した。
おおむね順調	
行政資源の活用	
適切	引き続き、ライフスタイルの多様化などに対応した高齢者の生きがいに満ちた生活・地域づくりに向け、時代のニーズを把握し、工夫しながら事業展開を行う必要がある。誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることのできる地域社会の構築のため、既存のサービスの検証を進めながら支援体制の充実を図る。
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者保健福祉計画推進事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～			
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー			
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費			
所管部課		福祉部 高齢福祉課		評価責任者	増村 規子
事務事業期間		平成12年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		老人福祉法・介護保険法			
事務事業の内容	事務事業の目的	老人福祉法及び介護保険法に定められた高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定を行う。また、計画は3年ごとに見直しを行うこととされていることから、進捗管理を併せて実施する。			
	事務事業の経緯	介護保険事業計画は、介護保険法により3年を1期として策定することが義務付けられている。本市では、これに合わせ高齢者保健福祉計画も一体のものとして作成している。また、作成年度に庁内検討委員会を設置し計画原案の検討を行うとともに、諮問機関である介護保険等運営審議会へ諮問し計画策定を行っている。			
	事務事業の概要	3年ごとに高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定する。計画は介護保険等運営審議会に諮問し、答申をいただいている。策定した計画は、審議会により進捗管理を実施している。			
	令和3年度の主な取組	第7期計画に示された各種事業計画について、介護保険等運営審議会に進捗を報告し、審議を行った。また、令和3年度から令和5年度の第8期計画について内容を協議し、案をまとめ、審議会からの答申をいただいた。これをもとに第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を決定した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.91	0.59	0.63
		人件費	7,332	4,690	5,008
	再任用職員	従事人数(人)	0.98	0.65	0.65
		人件費	5,195	3,289	3,289
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		12,527	7,979	8,297	
事業費	報酬※	429	306	456	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	29	29	31	
	委託料	2,970	0	4,294	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	65	25	36		
支出合計		16,019	8,339	13,114	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		16,019	8,339	13,114	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		140	73	112	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	計画の進捗管理における達成割合		
	説明	計画の各事業の今後の方向性を踏まえ、計画に対する事業の進捗・事業効果等を総合的に検討し、毎年度自己評価を行っている。この自己評価のうち、「○計画どおりの事業展開を図ることができ、大きな成果があった。」「△計画に基づき事業を実施し、一定の成果を得ることができた。」の割合。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	100	100	100
	実績値	100	0	
指標 2	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)の概要等</p> <p>計画の目的・特徴</p> <p>ふじみ野市における高齢者保健福祉計画に関する総合的計画と介護保険事業に関する事業計画を合わせたものであり、市の高齢者保健福祉施策の総合的指針となるものである。</p> <p>第8期計画は、第7期計画までの「みんなで支え合い いつまでも健やかに暮らせるまち」の基本理念を踏襲するとともに、団塊の世代が75歳以上となる2025年、更には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、労働人口の減少、高齢者人口のピークが見込まれる2040年を見据え、「サービス基盤・人的基盤の整備」「地域共生社会の実現」「介護予防健康づくり施策の充実・推進」「認知症施策の推進」等を目指す中長期的な視点から策定した。</p> <p>策定体制等</p> <p>庁内検討委員会及び介護保険等運営審議会で審議・検討するとともに、ニーズと実態把握のためのアンケート調査、計画案に対するパブリックコメントを実施した。</p> <p>基本理念と基本目標</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも、自分らしく、安心して、豊かな生活を送れるまちを、全ての世代の市民とともに支え合いながらつくりあげていくことを目指し、基本理念を「みんなで支え合いいつまでも健やかに暮らせるまち」と決定した。また、以下の4つを基本目標とした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いつまでも健康で自立した生活を継続できるまち 2. 住み慣れた地域で支え合いながら暮らせるまち 3. 安心して介護が受けられるまち 4. 快適にいきいきと暮らせるまち <p>計画の進行管理</p> <p>計画の進行管理については、介護保険等運営審議会において、計画の進捗状況の評価・点検を実施する。また、次期計画策定に向けた調査研究を実施する。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>次年度以降の取組み</p> <p>介護保険等運営審議会を中心に、第8期期間中の各種サービスの利用状況、要介護等認定者の状況、施設整備状況などについての検証を行う。また、第9期計画策定に向けた計画内容等の調査研究を行う。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		シルバー人材センター支援事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～			
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー			
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費			
所管部課		福祉部 高齢福祉課		評価責任者	増村 規子
事務事業期間		昭和62年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		高年齢者等の雇用の安定等に関する法律 ふじみ野市シルバー人材センター補助金交付要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	働く意欲と能力のある高齢者が、働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献するため設置されたシルバー人材センターに対し、補助金を支出しその活動を支援する。			
	事務事業の経緯	平成28年4月にふじみ野市・富士見市・三芳町のシルバー人材センターが合併し、(公社)入間東部シルバー人材センターが発足した。補助金については、協定により基本割額(国基準)と人口割額の合算額を市町それぞれの補助額とした。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の審査及び補助金の支出 ・法人の事業運営の確認 ・法人の運営等に関する連絡調整等及び活動の支援 			
	令和3年度の主な取組	(公社)入間東部シルバー人材センターに対し、市・町の協定により定められた補助金を交付するとともに、センターの健全運営への支援を行った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.03	0.03	0.03
		人件費	242	239	239
	再任用職員	従事人数(人)	0.11	0.07	0.07
		人件費	584	355	355
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計		826	594	594	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	10,104	10,101	10,128	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	4	4	4		
支出合計		10,934	10,699	10,726	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		10,934	10,699	10,726	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		95	94	92	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	契約金額		
	説明	シルバー人材センターの受注実績である契約金額を成果指標とする。		
成果	単位	千円		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	1,210,000	1,210,000	1,210,000
	実績値	1,142,220	1,160,196	
指標 2	指標名	シルバー人材センター会員数		
	説明	高齢者が就労を通じて生きがいや健やかに暮らせる環境づくりを推進する指標（年度末会員数）。会員数を増やすための啓発事業として、センター主催のコンサート及び富士見市・三芳町との共催による講演会を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	2,320	2,380	2,440
	実績値	2,039	2,068	
指標 3	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>高齢者等の雇用の安定等に関する法律が改正され、令和3年4月から、個々の労働者の多様な特性やニーズを踏まえ、70歳までの就業機会の確保について、多様な選択肢を法制度上整え、事業主としていずれかの措置を制度化する努力義務を設けることとされた。</p> <p>シルバー人材センターの70歳未満の会員の割合は減少しており、70歳以上の会員が80%を占めている状況である。そのような中でも就業率の向上に努め、地域の高齢者の社会参加による生きがいを充実し、地域社会の福祉と活性化に寄与するため、臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な就業を希望する高齢者に働く場を提供している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ野市・富士見市・三芳町共同による補助金交付及び事業支援の実施により、シルバー人材センターの健全運営とともに、シルバー世代への就労支援を図ることができた。 ・会員数・契約数を増やすための啓発事業（コンサート及び富士見市・三芳町との共催による講演会）を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となった。 ・契約金額は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受注が減り、減少となった。 ・会員登録勧奨のためシルバー人材センターでチラシを作成し、公共施設等で配布を行った。また、介護保険の保険料通知の封筒に広告を掲載し、会員募集と仕事の募集を広報した。
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	高齢者の生きがい対策や就労機会の提供の観点から、引き続きシルバー人材センターへの支援を行う。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		長寿推進事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費		
所管部課		福祉部 高齢福祉課	評価責任者	増村 規子
事務事業期間		昭和33年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の目的		高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、施設の管理運営、高齢者関係団体の支援等を行う。また、敬老の意を表し、祝金の支給をもって長寿を祝福する。さらに、高齢者の外出の機会を提供するためお出かけサポートタクシー事業を実施する。		
事務事業の経緯		本事業に位置づけている高齢者の生きがい対策は、主として老人クラブ育成、敬老祝金の支給、高齢者施設管理運営(指定管理者施設除く)である。本市(合併前)では昭和40年度より補助金支出による財政支援等を実施。敬老祝金は、旧上福岡市は昭和33年、旧大井町は昭和39年に事業開始となっている。お出かけサポートタクシー事業は平成28年4月に開始した。		
事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートボール場(上福岡、滝、北野、嶋田)の管理運営及び利用者団体の育成。 ・老人クラブの育成・活動支援のため、補助金を交付し財政的援助を行うとともに、必要に応じ助言など支援を実施。 ・敬老祝金(77歳、88歳、99歳)の支給。 ・お出かけサポートタクシー事業の実施。 ・地域保健福祉活動事業費補助金、地域支え合い事業補助金の交付により地域福祉活動を支援。 		
令和3年度の主な取組		<p>【ゲートボール場】スポーツを通じて、高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう支援。</p> <p>【老人クラブ】老後の生活を豊かなものにしていくため、概ね60歳以上の方でクラブをつくり、趣味・教養・娯楽などの交流や社会活動を行う老人クラブに対し支援を行っている。</p> <p>【敬老祝金】市内に引き続き2年以上居住しており、対象年齢になった方に敬老祝金を支給。</p> <p>【お出かけサポートタクシー】タクシーの利用料金の半額を助成し、高齢者の外出の機会を提供した。また、令和2年度から事業内容の見直し、運行範囲の拡大、共通乗降場の撤廃等を行って実施した。</p>		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.93	0.99	1.05
		人件費	7,494	7,869	8,346
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.49	0.00	1.00
	人件費	2,272	0	0	
人件費計		9,766	7,869	8,346	
事業費	報酬※	1,774	1,779	1,909	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	1,298	286	192	
	委託料	818	442	1,370	
	使用料及び賃借料	648	634	634	
	工事請負費	2,915	0	0	
	負担金、補助及び交付金	12,149	12,803	23,213	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	33,391	20,140	22,237		
支出合計		60,486	43,953	57,901	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	499	0	456
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	2,915	0	0
		その他	0	0	6
一般財源		57,072	43,953	57,439	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		498	384	493	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	老人クラブ会員数		
	説明	高齢者施設等を拠点として活動する老人クラブ会員数を成果指標とする。 ※いきいきクラブ会員募集のチラシ配布等の周知活動を行っているが、入会する高齢者が少ないこと、会員の高齢化が進み、役員の担い手不足から連合会を脱退するクラブもあり減少している。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	2,022	1,600	1,600
	実績値	1,513	0	
指標 2	指標名	お出かけサポートタクシー延べ利用回数		
	説明	お出かけサポートタクシーを利用して外出した高齢者の延べ利用回数を成果指標とする。 ※新型コロナウイルス感染症の影響があり、利用延べ人数は減少となっている。 令和2年度からはより多くの高齢者が公平に利用できる福祉サービスとして利用回数上限を設け実施している。		
成果	単位	回		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	3,500	2,200	2,200
	実績値	15,182	0	
指標 3	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【ゲートボール場】 スポーツを通じて、高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう支援している。高齢福祉課が管理しているゲートボール場は、上福岡ゲートボール場をはじめ、4か所ある。</p> <p>【老人クラブ】 老後の生活を豊かなものにしていくため、概ね60歳以上の方でクラブをつくり、趣味・教養・娯楽などの交流や社会活動を行う老人クラブに対し支援を行っている。また、地域ごとに市と共催で講演会等を開催するなどし、地域での交流を深めている(令和3年度末現在 ○○団体○○○人が加入)。</p> <p>【敬老祝金】 市内に引き続き2年以上居住しており、対象年齢になった方に敬老祝金を支給。支給対象者は、喜寿・米寿・白寿</p> <p>【お出かけサポートタクシー】 タクシーの利用料金の一部を助成し、高齢者等の交通手段の確保及び福祉の増進や外出の機会を提供している。対象者は、市内に住所を有し65歳以上で申請により登録証の交付を受けた方。 新型コロナウイルスのワクチン接種を推奨するにあたり、医療機関、集団接種会場までの交通手段としての利用も考慮し、タクシーの6台から3台増やし、9台体制を運行を実施。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	今後の高齢社会の進行を踏まえ、事業内容については検討していく必要があるが、長寿推進のための事業は必要なものと考えている。一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加する中、生きがいを持って生活し地域において活動していくことは今後ますます重要なものとなる。必要に応じた見直しを行いながら、事業の継続をしていくことが重要である。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者福祉施設整備等支援事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費		
所管部課		福祉部 高齢福祉課	評価責任者	増村 規子
事務事業期間		平成28年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市高齢者福祉施設整備補助金交付要綱、ふじみ野市施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金交付要綱、ふじみ野市介護保険事業計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者福祉施設を介護保険事業計画に基づき計画的に整備し、高齢者に良質で安定した介護サービスを提供するとともに、市内に高齢者福祉施設を整備する法人に対して整備費等に係る負担の軽減を図る。		
	事務事業の経緯	国の三位一体改革に伴う補助金制度の見直しにより従来の国・県による補助制度が廃止され、平成17年度より「地域介護・福祉空間整備等交付金」が創設された。なお、平成28年度に同交付金のメニューが見直しされ、新たに「埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金交付要綱」が創設された。		
	事務事業の概要	国・県から交付される補助金を活用して、市内に地域密着型の高齢者福祉施設を整備する法人に対して整備費等の一部を助成する補助金を交付する。施設整備費に係る補助金及び開設準備経費に係る補助金からなる。		
	令和3年度の主な取組	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画において、令和4年度に位置づけられている以下の地域密着型サービスの整備事業者を選定するため、公募を実施した。 ①認知症対応型共同生活介護（2ユニット18人） ②看護小規模多機能型居宅介護又は小規模多機能型居宅介護（登録定員29人まで） ※ ①と②の併設型		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	0.31	0.33
		人件費	1,612	2,464	2,623
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,612	2,464	2,623	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	154,251	0	93,213	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	955	0	0		
支出合計		156,818	2,464	95,836	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	154,251	0	93,213
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	419	0	0
一般財源		2,148	2,464	2,623	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		19	22	22	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	地域密着型特別養護老人ホームの床数		
	説明	地域密着型特別養護老人ホームの入居（入所）可能となる人数を把握する指標である。		
成果	単位	床		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	29	58	58
	実績値	58	58	
指標 2	指標名	グループホームの床数		
	説明	グループホームの入居（入所）可能となる人数を把握する指標である。		
成果	単位	床		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	81	81	99
	実績値	81	81	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【高齢者福祉施設整備補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 高齢者福祉施設の整備費等の一部を助成することで、高齢者施設等の整備を促進し、高齢者福祉の向上を図ることを目的とする。 ・対象事業所種別 認知症高齢者グループホーム、地域密着型介護老人福祉施設等 ・補助額 埼玉県の定める基準額を上限として補助を行う。 <p>【施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 高齢者福祉施設の開設に係る準備経費の一部を助成することで、高齢者施設等の整備を促進し、高齢者福祉の向上を図ることを目的とする。 ・対象事業所種別 認知症高齢者グループホーム、地域密着型介護老人福祉施設等 ・補助額 埼玉県の定める基準額を上限として補助を行う。 <p>～令和3年度実績～ 補助金交付実績なし。（令和3年度は、補助対象施設の整備計画がなかったため。）</p> <p>※令和3年度は、令和4年度に整備を計画している地域密着型サービスの整備事業者の公募を実施し、事業者の選定を行った。</p> <p>【選定結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所種別 ①認知症対応型共同生活介護（2ユニット18人） ②小規模多機能型居宅介護（登録定員29人まで） ※①と②の併設型 ・事業者名 医療生協さいたま生活協同組合 ・開設予定地 ふじみ野市ふじみ野1丁目1番 ・開設予定月 令和5年3月

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	第3期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）に基づき、市内に高齢者福祉施設を整備する法人に対して、県の補助金を活用し補助を実施する。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	大井総合福祉センター管理運営事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
予算費目	一般会計 03民生費 01社会福祉費 04総合福祉センター費			
所管部課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者	仲野 公堅	
事務事業期間	平成14年度～	評価日	令和4年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	老人福祉法 ふじみ野市立大井総合福祉センター条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者及び障がい者の自立の促進及び健康の増進を図るとともに、市民の相互交流と福祉の向上に資することを目的とする。		
	事務事業の経緯	大井総合福祉センターは平成14年度に開設以来、高齢者及び障がい者を対象に、地域福祉の拠点的役割を持つ施設として常に良好な環境を保つよう、維持管理及び運営を行っている。平成24年4月からは事業を効果的かつ効率的に行うため、指定管理者制度を導入している。		
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 仕様・協定の作成及び指定管理者選定事務（5年ごと） 協定書に基づき指定管理者が実施する施設管理・健康相談・自主事業などの進捗管理 危機管理体制の整備及び対応 		
	令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 現在の指定管理者は3期目であり、指定期間は令和2年度から令和6年度までの5年間である。 第3期の4年目となり、高齢者や障がい者の介護予防及び健康増進等に関する情報提供や普及啓発事業を市指定事業としており、指定管理者により事業展開が図られた。大規模改修工事として、空調機器の入れ替え工事、旧デイケアセンターの改修工事を実施した。 空調設備更新工事の設計業務を委託により実施した。 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.36	0.39	0.41
		人件費	2,901	3,100	3,259
	再任用職員	従事人数(人)	0.15	0.10	0.10
		人件費	796	506	506
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,697	3,606	3,765	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	2,757	0	3,795	
	委託料	68,351	66,442	66,440	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	451	160,807	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	1,939	3,636	41		
支出合計		77,195	234,491	74,041	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	132,900	0
		基金	1,899	32,404	0
		その他	1,513	0	0
一般財源	73,783	69,187	74,041		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		644	605	635	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	開館日数		
	説明	サービス提供量の開館日数を活動指標とする（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により閉館していた期間あり）。		
活動	単位	日		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	290	293	293
	実績値	240	294	
指標 2	指標名	おおい老人福祉センター新規利用登録者数		
	説明	おおい老人福祉センターについては、より広く高齢者に利用されることをめざし事業展開を行うことから、新規利用登録者数を指標とする。		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	230	250	250
	実績値	60	83	
指標 3	指標名	介護予防講座・教室参加者数		
	説明	令和2年度から、施設の指定管理事業に介護予防事業として講座・教室の実施が盛り込まれたことから、この事業への参加実人数を評価指標とする。		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	120	450	500
	実績値	274	783	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【大井総合福祉センターの概要】</p> <p>大井総合福祉センターは、高齢者及び障がい者の自立の促進及び健康の増進を図るとともに、市民の相互交流と福祉の向上に資するため、平成14年度に複合施設として開館した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設として、入浴施設や運動・交流等が行える『おおい老人福祉センター』を2階部分に設置している（高齢福祉課所管）。 ・障がい者施設として、1階部分に『大井デイケアセンター』を設置し、入間東部福祉会が運営（障がい福祉課所管）。また、3階部分には、『障がい者総合相談センター』を一部委託で設置している（障がい福祉課所管）。 ・平成28年度からNPO法人により、『市民大学ふじみ野』をセンター3階に開校し高齢者を含む多くの市民のまちづくりを考える場として活用している（協働推進課所管）。 ・4階部分には、社会福祉協議会大井支所が入居。令和2年度から成年後見センターを設置している。 ・その他として、多目的ホールや会議室（3室）を有し、高齢者・障がい者団体等に貸出し、活動の場として支援を行っている。 <p>【おおい老人福祉センターについて】</p> <p>利用対象者：60歳以上の方及び障害者手帳の交付を受けている方等（未就学児は不可） 利用料：市内在住の60歳以上の方及び障害者手帳の交付を受けている方は無料。市内在住の60歳未満の方は300円、市外の方は600円</p> <table border="1"> <tr> <td>利用者数</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(男性) 35,009人</td> <td>(男性) 31,512人</td> <td>(男性) 6,603人</td> <td>(男性) 11,795人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(女性) 31,018人</td> <td>(女性) 28,082人</td> <td>(女性) 5,714人</td> <td>(女性) 10,210人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(合計) 66,027人</td> <td>(合計) 59,594人</td> <td>(合計) 12,317人</td> <td>(合計) 22,563人</td> </tr> </table> <p>※平成14年度から、受付・管理業務をシルバー人材センターに委託 ※平成31年3月5日、延べ来館者数が100万人を突破した。</p>	利用者数	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		(男性) 35,009人	(男性) 31,512人	(男性) 6,603人	(男性) 11,795人		(女性) 31,018人	(女性) 28,082人	(女性) 5,714人	(女性) 10,210人		(合計) 66,027人	(合計) 59,594人	(合計) 12,317人	(合計) 22,563人
	利用者数	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																
	(男性) 35,009人	(男性) 31,512人	(男性) 6,603人	(男性) 11,795人																	
	(女性) 31,018人	(女性) 28,082人	(女性) 5,714人	(女性) 10,210人																	
	(合計) 66,027人	(合計) 59,594人	(合計) 12,317人	(合計) 22,563人																	

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>高齢者・障がい者の自立の促進及び健康の増進を図るとともに、市民の相互交流と福祉の向上に資することを目的とした施設であり、高齢福祉施設及び障がい福祉課所管施設、協働推進課所管施設、社会福祉協議会などの複合施設として有効活用が図られている。</p> <p>また、1階の旧デイケアセンターの改修工事を実施し、今後市西側の介護予防の拠点として活用を図り、今後、介護予防センターとの連携を図り、事業展開を図る。</p>
中長期的方向性	<p>おおい老人福祉センターについては、自主事業やイベントの継続を図り、新規利用者の獲得につなげていくとともに、介護予防や栄養改善に関する事業を指定管理者の事業として開催していく。また、利用者が安心かつ安全に過ごせるよう、老朽化が進み、特にボイラーについては交換する時期に来ていることから、優先順位を定め計画的に施設管理（保守点、清掃、修繕）を行っていく。</p>
継続	